



前田一步園財団 の エゾシカ対策

(一財) 前田一步園財団
時田 勝広

1

1

1. 捕獲，給餌について

3

3

捕獲について

1999～2004年は鉄砲による有害駆除.

2004年～現在は罠いワナによる生体捕獲を実施.

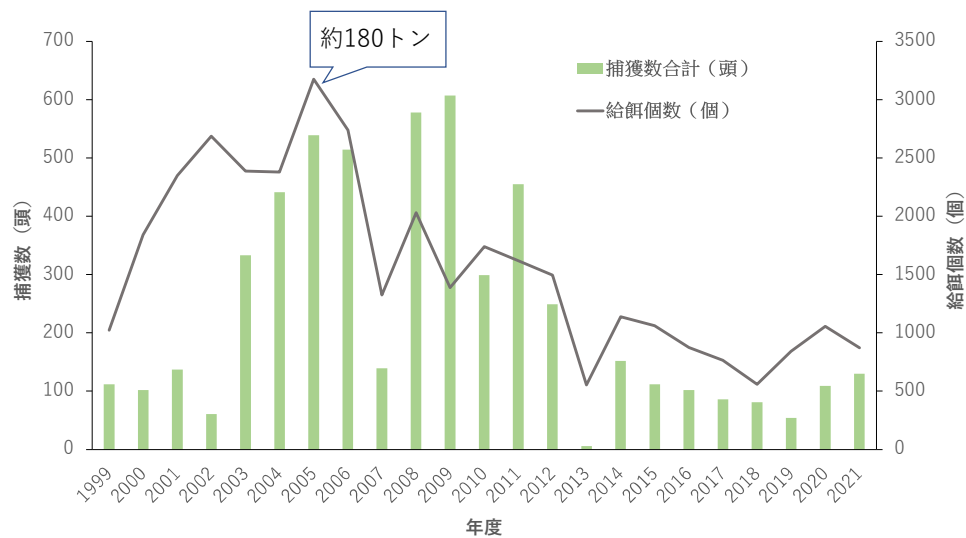
給餌とは

冬季の樹皮食い被害を防ぐ目的で、ビートパルプブロック（60kg/個）を1999年から現在まで積雪期に給餌している.

4

4

1 - 1. これまでの捕獲数，給餌量の推移



捕獲数累計：5,938頭（うち、罠いワナは2004年～2021年に実施し4,433頭）

5

5

1 - 2. 給餌場に集まるシカの数推移



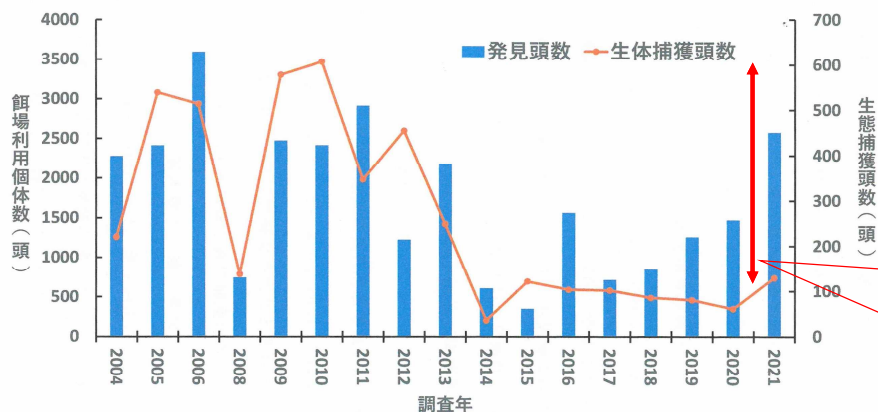
6

1 - 2. 給餌場に集まるシカの数推移



7

1 - 2. 給餌場に集まるシカの数推移



シカが増えているのに、捕獲数が低いまま

図 6. 餌場利用個体数と阿寒湖周辺森林内の生体捕獲頭数

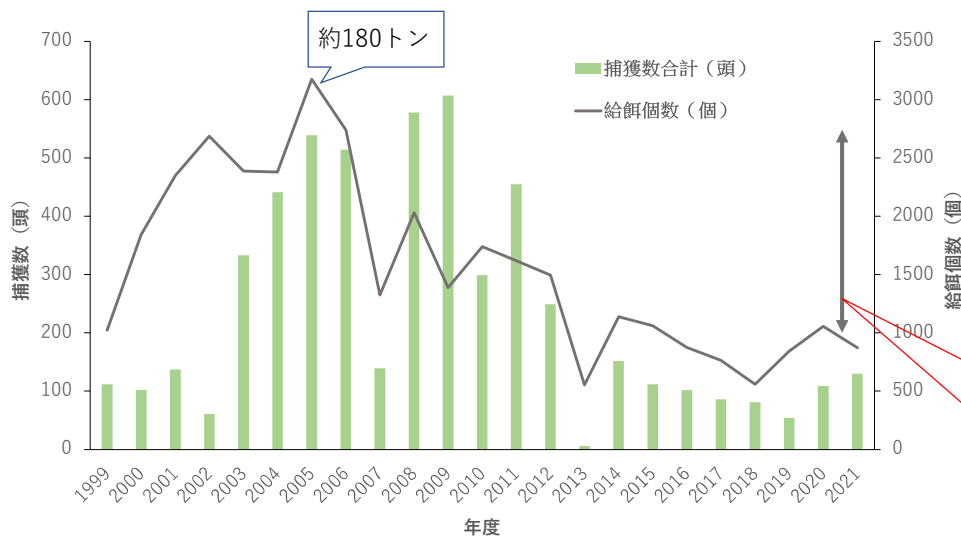
出典

高木美帆 (2022) 阿寒湖周辺における野生エゾシカの利用状況の調査. 東京農業大学 生物産業学部 北方圏農学科 家畜生産管理学研究室 令和3年度 卒業論文.

8

8

1 - 1. これまでの捕獲数、給餌量の推移 (再掲)



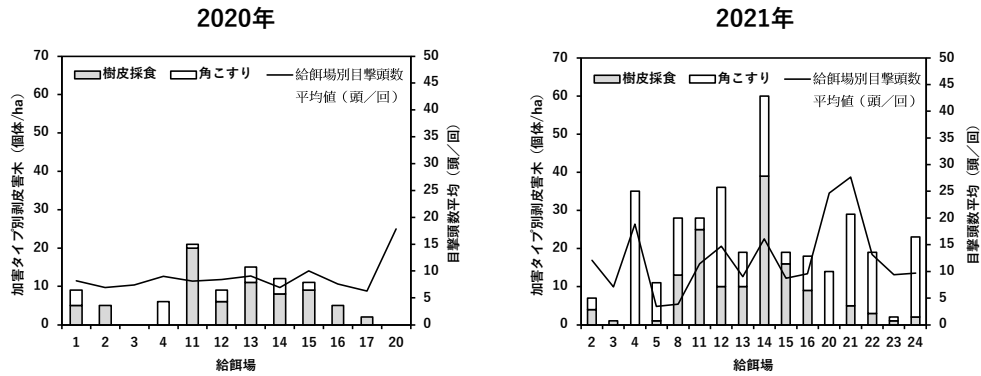
シカが増えているのに、給餌量と捕獲数が少ない

捕獲数累計：5,938頭 (うち、囲いワナは2004年～2021年に実施し4,433頭)

9

9

1－3. 給餌場周辺の樹皮食い被害

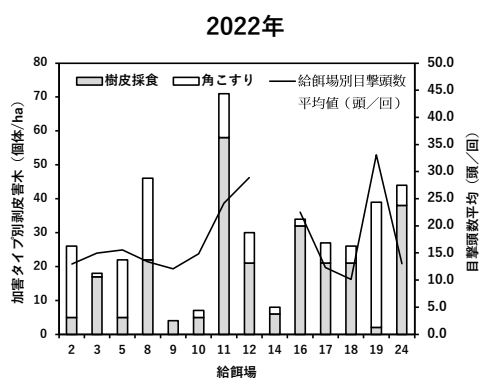


給餌場周辺 (1 haの円内) の新たな樹皮被害本数
給餌終了後4月～5月に調査

10

10

1－3. 給餌場周辺の樹皮食い被害



給餌場周辺 (1 haの円内) の新たな樹皮被害本数
給餌終了後4月～5月に調査

給餌場周辺の樹皮食い被害, 給餌回数, 目撃頭数

項目	調査年		
	2020年	2021年	2022年
給餌場数	12	16	13
樹皮食い本数 合計	71	139	251
樹皮食い本数 平均値 (本/箇所)	5.9	8.7	19.3
給餌回数合計	717	849	1002
給餌場目撃頭数 平均値 (頭/回)	8.8	12.5	17.5

2020年から2022年で
樹皮食い被害は3.5倍に増加！
目撃頭数平均値は2倍に増加！

11

11

捕獲の必要性

1. 500～600頭／年 捕獲していた時期（2005，2009，2010年ころ）と同じくらい給餌場にシカが来ている。
2. 捕獲数が100頭／年程度で，給餌量のみ以前並（ビートパルプ1500～3000個）に増やせば，シカの数が増え，樹皮食いが増加するのでは？

**捕獲が重要。
捕獲数を上昇させたい。**

12

12

1－4. 今年の捕獲

ワナの数を増やした。

H29～R1年度	2基	→	R4年度	5基
R2～R3年度	3基		R5年度以降	6基（予定）

抱えている問題

1. 請負先の人員減少（500～600頭／年 捕獲していたころは今の2～3倍の作業員がいた）や養鹿場への輸送の問題により捕獲日が週2回のみ。
2. 自動捕獲装置は，センサーとコンピュータのカウントの問題により捕獲効率がなかなか上がらない。

解決に向けての私見

1. 養鹿場への輸送や，受け入れ態勢に関する情報が欲しい。
2. 捕獲効率を上昇させる自動捕獲装置に関する調査，研究により北海道に適した装置の開発が必要かもしれない。

13

13

1 - 4. 今年の捕獲



- ワナ5基 (◆)
- 2023年1月31日捕獲開始予定

14

14

2. 無積雪期の囲いワナの観察

15

15

2-1. 観察方法



場所

罝いワナ2基（◆2022年捕獲実施）

観察期間

2022年4月～2022年11月

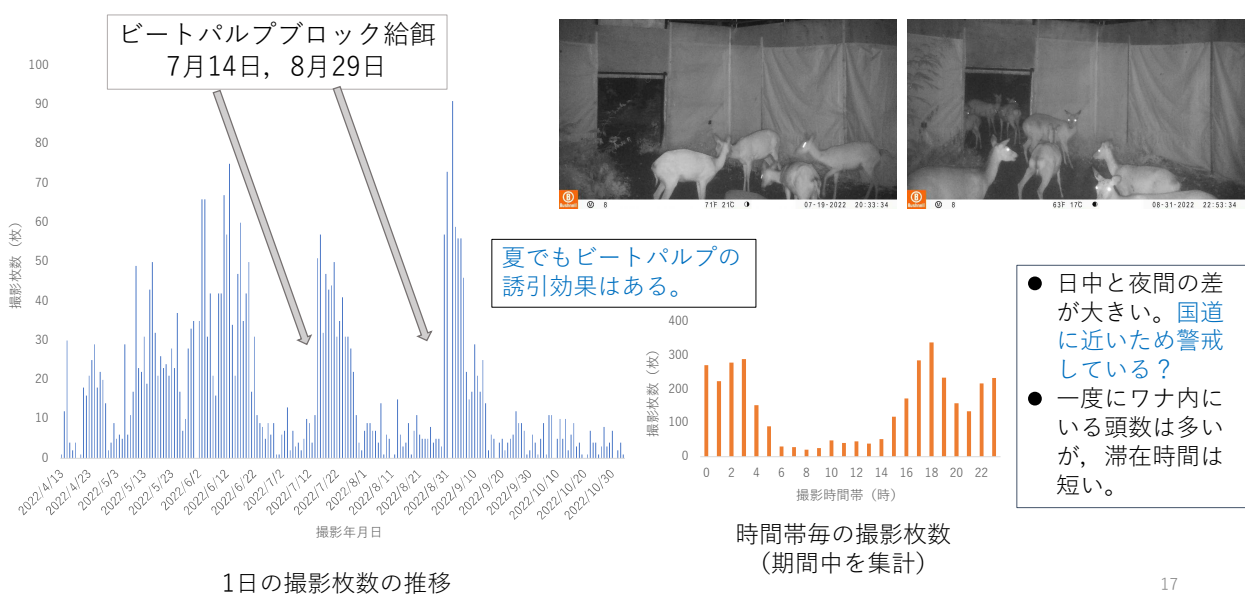
撮影方法

- 自動撮影カメラ.
- 5分間隔（1日最大288枚）.
- ビートパルプブロック給餌日を記録.
- ユクル（ミネラル）はほとんどの期間あった.

16

16

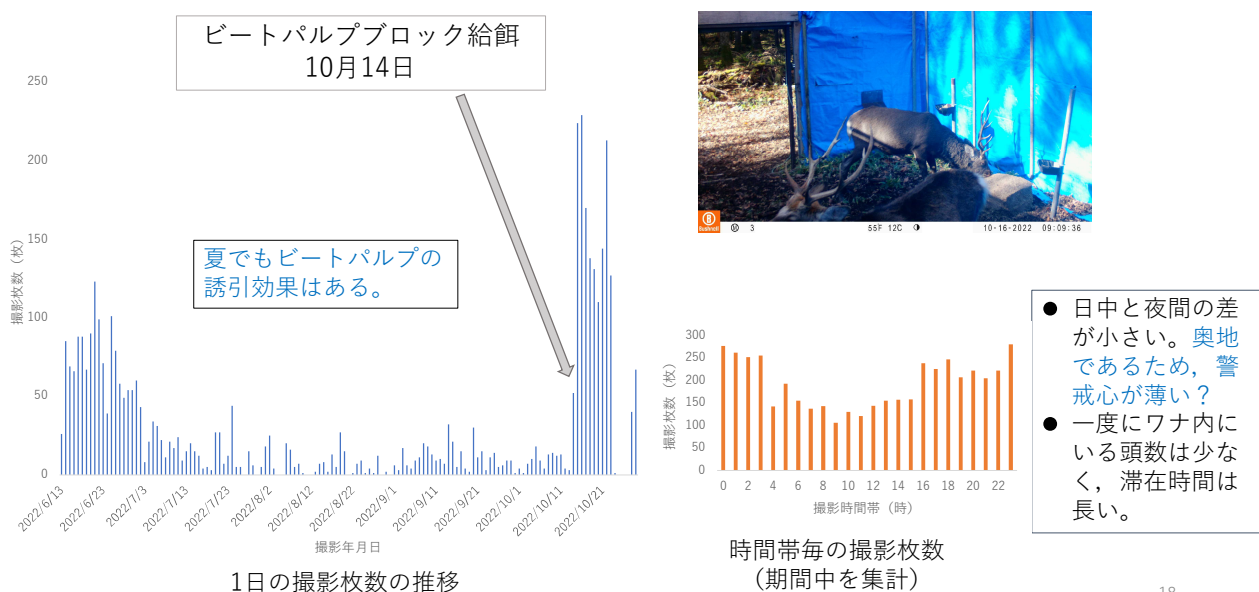
2-2. 結果① ワナNo.10 内カメラ



17

17

2-3. 結果② ワナNo.2 内カメラ



18

18

2-4. その他に分かったこと



- 無積雪期はユクル（ミネラル）を舐める。冬は舐めない。
- ただし、ビートパルプより誘引効果は弱い。

19

19

2-5. 無積雪期の捕獲に関する考察

1. 夏でもワナ内に誘引できるため、捕獲は可能と思われる。
2. そこで、夏の捕獲を実施しようと考えたが、現場担当者より「ワナ内でシカが流血するなどした場合、クマを誘引する可能性があるため、危険性が大きく実施できない」と回答があった。
3. 本当にシカの血がクマを誘引するかの検証や、餌や捕獲方法の選択による安全な捕獲方法の検証が必要と思われる。
4. 安全な捕獲方法を、作業者に納得してもらうことで捕獲できる可能性がある。
5. また、1度捕獲した後にワナに入るシカがいなくなるのか、継続的に誘引されるのかも検証する必要があると思われる。

20

20

2-6. 囲いワナ周辺のクマの出没状況

ワナNo.10



撮影されたのは1回。ワナ内へは侵入なし。

21

21

2-6. 囲いワナ周辺のクマの出没状況

ワナNo.2



撮影されたのは11回。ワナ内へは侵入なし。

22

22

2-6. 囲いワナ周辺のクマの出没状況

ワナNo.2



撮影されたのは11回。ワナ内へは侵入なし。

23

23

2-6. 囲いワナ周辺のクマの出没状況

ワナNo.2



45F 7C 06-04-2022 19:06:18



59F 15C 06-24-2022 04:25:44



59F 15C 06-24-2022 04:12:38

撮影されたのは11回。ワナ内へは侵入なし。

24